

現在42期。修了者総数2000名以上！

◆本科生へのサポート①

当協会主催の公開講座無料聴講券「特別聴講券」を全コース受講者には4枚、各コース受講者には、2枚進呈します！

研修期間中、当協会発行書籍を定価の2割引きで購入できます！

今回お申込みいただきますと、以下の2冊を無料進呈します！

「工業所有権法（産業財産権法）逐条解説〔第19版〕」（定価8,640円）

「工業所有権（産業財産権）法令集〔第59版〕」（定価6,686円）

◆本科生へのサポート②

欠席者へのフォローとして、講義録音CDの貸し出し、再試験。

出席点、レポート等の評価点による修了認定あり。

全コース終了後、修了証書授与式、修了懇談会の実施。

研修生懇親会の開催、紋谷先生ゼミ夏合宿参加（希望者のみ）、

事例研究、グループワーク。

知的財産高等裁判所見学傍聴、自主レポートの添削等々。

◆申込要項

○研修期間

■リーガルコース（法律コース）

平成26年5月15日（木）～7月23日（水）の22日間

■プラクティスコース（実務コース）

平成26年8月26日（火）～11月5日（水）の22日間

※各コースとも前年度より1日間、講義日数を増やしました！

○講義日および時間 10:00～17:00（原則週2日、1日6時間、途中休憩あり）

○会場 発明会館7階研修ルーム

○受講料（テキスト代含む）

■全コース（リーガルコース+プラクティスコース）

<一般> 473,500円（税込み）

<発明協会グループ会員> 411,500円（税込み）

■各コース（リーガルコースのみ、プラクティスコースのみ）

<一般> 257,500円（税込み）

<発明協会グループ会員> 237,000円（税込み）

○申込み方法 発明推進協会ホームページより申込書を

ダウンロードの上、必要事項をご記入後、

E-MAILまたは郵送にてお申込みください。

※スケジュール、その他詳しくは下記にお問い合わせください。

※上記受講料には、教材費・消費税が含まれます。

なお、本受講料は消費税8%で計算しています。



◆お問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14

一般社団法人 発明推進協会 知的財産研究センター 知的財産総合支援グループ 研修チーム

TEL: 03-3502-5439 FAX: 03-3506-8788

E-mail: honka-kenshu@jiii.or.jp http://www.jiii.or.jp

知財を学びたい

平成26年度

第42期

知的財産権研修 本科コース



開講は1973年

知的財産の専門知識を
企業戦略に結び付けられる
スペシャリスト養成のための専門コース!

◆本研修の5つの特長

1 長期・集中的な一貫した研修カリキュラム

週2日ずつ約6か月に亘る長期・集中的な研修プログラム。知財実務に必要なすべてのテーマが揃う。

2 優れた講師陣による指導

知的財産権関連法を専門とする高名な大学教授、企業の実務家、現職裁判官等の法曹実務家等々。

3 少人数制によるきめ細やかな教育

活発な質疑応答、試験やレポートのほか、講師による添削指導もあるため、より理解が深まる。

4 グループ演習と発表

グループワークを通じて、研修生同士の絆が生まれ、異業種部門とも交流を図れる。

5 修了認定

試験、およびレポート評価と出席率を総合的に判定したうえで修了認定し、修了証書を交付。

◆リーガルコース（法律コース）

まずは、法律の解釈および運用を正しく理解するところから始めます。法律用語の理解も含め、特許法・実用新案法・意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法・種苗法等の知的財産権法全般を学びます。

【科目・講師（敬称略）】

法学概論：早稲田大学名誉教授 木村照一／知的財産権法：成蹊大学法科大学院 紋谷暢男／知的財産権と民法：弁護士 牧野利秋（元高等裁判所総括判事）／知的財産権と民事訴訟法：早稲田大学法学部・大学院法学研究科 教授 高林龍／不正競争防止法：東京都立大学名誉教授 渋谷達紀／知的財産権の国際的保護体系：弁護士 大瀬戸豪志（元立命館大学法学部・甲南大学法科大学院教授）／知的財産権と独占禁止法：京都女子大学法学部 教授 泉克幸／知的財産推進計画2014について：発明推進協会 知的財産研究センター長 扇谷高男

※科目ならびに講師は変更することもあります。

◆プラクティスコース（実務コース）

企業の知財戦略のあり方や特許権等に関する実施契約について理論と実践の両面から学び、演習形式によりグループ討論・発表を通して知識を身につけます。特許の無効審判や侵害訴訟について、基礎から実務的な事例に至る理論と実務について研修します。

【科目・講師（敬称略）】

企業における研究開発と特許管理：旭化成株式会社知的財産顧問 山田和見／特許明細書作成の実務：弁理士 長谷部善太郎／特許情報管理（サーチ、IPDLの使い方）：ランドンIP合同会社 日本事業統括部長 野崎篤志／特許審査基準（新規性・進歩性）：東京理科大学教授・弁理士 浅見節子／中間手続き（意見書・補正）：弁理士 影山秀一／米国特許出願の実務と管理：弁理士 服部博信／パリ条約・PCTとヨーロッパ特許出願の実務と管理：弁理士 下道晶久／中国特許出願の実務と管理：弁理士 雙田飛鳥／ライセンス・ビジネス：大阪工業大学大学院知的財産研究科 教授 岡本清秀／知的財産の活用：名古屋大学 理事 青山高美／契約書の作成実務：青山学院大学法学部 特別招聘教授 石田正泰／ライセンス契約と独占禁止法：京都女子大学法学部 教授 泉克幸／知的財産権と行政訴訟：中央大学法科大学院 教授 安念潤司／特許関係訴訟の基礎理論：弁護士 牧野利秋／特許権侵害訴訟の仕組と理論：知的財産高等裁判所 判事／商標権侵害：弁護士 松尾和子／意匠権侵害：弁理士 水野みな子／損害賠償請求：弁護士 古城春美／技術的範囲と利用関係：弁護士 窪田英一郎／米国特許侵害訴訟の概要：弁護士 村田真一／総括研修：成蹊大学法科大学院 紋谷暢男

※科目ならびに講師は変更することもあります。

平成25年度（第41期）本科コース 修了生体験記



知識と仲間は 一生の宝物

リンテック株式会社
知的財産部
奥田卓也さん

今回の知的財産権研修は、全てが参加型で相互啓発性が高い研修でした。知財経験が浅かったこともあり、初めは尻込みしていた私でしたが、志を共にする周りの研修生の方々や、どんな質問でも丁寧に耳を傾け、分かり易く教えてくださる講師の先生方のおかげで、いつの間にか疑問や感じたことをその場で反射的に発言する自分になっていました。ある研修生の質問をきっかけに、先生も交え、皆でミニ討論会なんてこともしばしば。意見をぶつけ合う皆さんの生き生きとした目が今でも忘れられません。

この研修を通じて、最も感じそして得たことは、1つの事案へ対応するには、様々な角度から種々の法律を同時に照らし合わせながら考察し、初めての確で有効な対応・判断が出来るということ。まさに知的財産権の実戦活用の意味と、その内容・手段を学ぶことができた実感しています。今回の研修で得た知識と仲間を私の一生の宝物として大切に、これからも一緒に切磋琢磨していきたいと考えています。



必ずプラスに なるもの

株式会社林原
特許・契約部
伊澤精祐さん

知的財産権研修は、法律コースと実務コースの2部からなり、法学の概論から米国特許侵害訴訟まで、広く深く知的財産権全般を学ぶことができます。また、講師の先生方は、知的財産権の大御所から、現役の裁判官、弁護士、弁理士と実務の第一線で活躍されている方々まで非常にバラエティーに富んでいます。さらに、グループ演習やレポート課題も多く、講師の先生方からのフィードバックも有るので、単なる知識のインプットだけでは終わらずに、知識が定着しやすい構成です。

少人数の長期研修（約半年）なので、まるで同級生のような感覚を覚えるほどに研修生同士が仲良くなります。加えて、懇親会や特別研究会（本研修の実質的なOB会）を通じて、講師の先生方や知財業界の先輩方と親しくなる機会もあります。本研修で得られる知識も然ることながら、研修を通して得られる人脈は、他の短期研修では得られないものであり、今後の知財関連業務に必ずプラスになると考えています。



知財の プロフェッショナル

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
開発企画本部 知的財産部
知財第2グループ
山本恭子さん

本研修を通じて私が得たことは大きく2点挙げられます。1つは自分が法務部門の社員であるということに対する強い自覚です。日々の業務においては法令に関する高い知識を求められる場面はそれ程ありませんが、自社の製品をお客様に安心して使用して頂くためには知財担当者は特許法に加えて様々な法令に関する知見を持つ必要があることを強く自覚致しました。2つ目は講師の方々の熱意ある指導により、民法、独占禁止法、行政事件訴訟法等の法文の面白さを感じることができるようになった点です。

研修中に苦労した点は通常業務も含めた工数管理です。2ヶ月半の研修期間中に週2回の講義を受講しながら、庁期限や出願期限を通常業務において遵守することには大変苦労しました。業務外の時間においても、講義のレポートの作成と家事との両立に追われる日々でした。業務調整をはじめとする様々なことにご配慮頂きました上長および家族に感謝しています。

研修生の方々との出会いも大変良い刺激となりました。向学心に溢れた方達や他社の知財担当者と議論させて頂くことにより、異なる考え方に触れ、知的財産のプロフェッショナルとしての自分の視野を広げることができました。



テキスト一式が バイブル

日本ガイシ株式会社
法務部 知的財産第2グループ
角谷茂明さん

私は研究開発部門から知財部門へ異動して間もなく、会社からの推薦でこの研修に参加しました。自ら希望して飛び込んだ知財の世界でしたが、工学部出身の私にとって法律とは未知の分野であったところ、この研修で基礎から体系的に学ぶことができ、今後の知財業務における私自身の根幹ができた実感しています。

研修が進み私の法律理解の深化とともに、遅まきながら講師陣が一流の方々であることに驚かされました。特に興味を持った幾つかの講義については、その講師の著書を何冊か購入し更に理解を深めました。今では、その書籍と本研修テキスト一式がバイブルとなっています。

また、研修期間中にはグループ演習や懇親会など、他の受講生と交流する機会がありました。

長期間の研修で机を並べて勉強した受講生とは、業種や肩書を抜きにした“学友”という関係となり、普段の業務では得られない貴重な財産となりました。

